

## 救護施設やしおみ荘

〒972-0161 福島県いわき市遠野町上遠野字堀切27  
TEL(0246)89-3333 FAX(0246)89-3334

## 知的障がい者通勤寮 レジデンスなこそ

〒979-0145 福島県いわき市勿来町四沢清水17-1  
TEL(0246)78-1336 FAX(0246)65-4160

## 地域生活相談室せんとらる

〒979-0145 福島県いわき市勿来町四沢清水17-1  
TEL(0246)65-5222

## 知的障がい者更生施設ふじみ更生園

ショートステイほっと  
〒972-0252 福島県いわき市遠野町上根本字白坂384  
TEL(0246)89-3400 FAX(0246)89-3454

## 虹のかけはし

〒974-8261 福島県いわき市植田町中央3-1-7 常交植田ビル2F  
TEL(0246)77-2885 FAX(0246)77-2886

## ワークセンターしおさい

〒971-8161 福島県いわき市小名浜諏訪町1-10  
TEL(0246)73-2077 FAX(0246)73-2078

## 手打ちうどん 天真庵

〒974-8212 福島県いわき市東田町2-11-7  
TEL(0246)77-2033

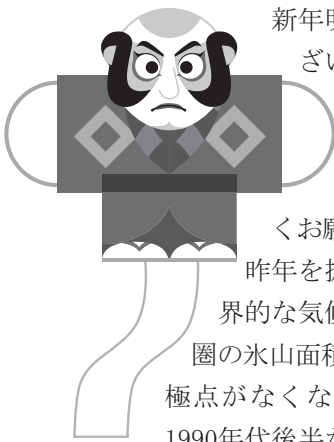
## ヘルパーステーションあくていぶ

〒974-8261 福島県いわき市植田町中央3-1-7 常交植田ビル3F  
TEL(0246)62-8810 FAX(0246)62-8810

## 児童デイサービスチャーむ・日中一時支援事業ウイズ

〒971-8166 福島県いわき市小名浜愛宕上13-23  
TEL(0246)73-2033 FAX(0246)73-2034

## 今年はどうなる年 社会福祉法人誠心会 理事長 松崎 有一



新年明けましておめでとうございます。昨年中は、大変お世話になりました。本年も倍旧のご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。さて、

昨年を振り返って見ますと、世界的な気候の温暖化により、北極圏の氷山面積が減少し、40年後には、極点がなくなると予測されており、1990年代後半から氷が溶け出し予測より30年早く氷が減少しているといわれています。それに伴い、明治と現在の東京の温度は、3度上昇しているといわれて、5月には気温が30度を記録し蝉が鳴きました。一方北陸地方では、能登半島、新潟中越沖地震が3月、7月と起き大変な震災により大きな不幸が起きた年でもありました。また、参議院選挙では、自民党の大敗により安倍総理の突然の退陣、福田新総理の誕生。経済においてはアメリカに

おけるサブプライムローン問題で失速気味、一年を壺語で表すと「偽」等と、大きなニュースが飛び込んできた年でありました。福祉業界では、指定介護事業者コムスンの事業取消。一昨年スタートした障害者自立支援法では、利用者負担金が一割負担とかなり負担感が重くのしかかり、厚生労働省は、激変緩和措置として1200億の緊急補正予算を組み、負担感の減少に取り組みました。さらに、与党障害者自立に関するプロジェクトチームにより、障害者自立支援法の抜本的見直しに向けた緊急措置が発表されました。その内容は、改革に伴う軋みに丁寧に対応するために今年の7月より利用者負担の更なる軽減や4月には、事業者の経営基盤の強化、グループホーム等の整備促進に対する激変緩和措置を講ずるものでした。これにて、利用者も事業者もすこしは、安心して過ごせるようになると思われます。当法人も、そのような改革に向け色々な事業に取り組んで生きたいと考えておりますので皆様のご支援のほどよろしく願いいたします。

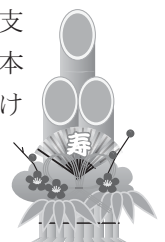
## 新年を迎えて 「やしおみ荘」施設長 上遠野 重行

新年明けましておめでとうございます。昨年4月「やしおみ荘」に就任以来、皆様方には大変お世話になり感謝申し上げます。

昨年は色々な出来事がありました。年金問題や食品の偽装、毎日おこる事件など、また、福祉部門でもコムスン問題や課題が山積された障がい者自立支援法等、この1年を振り返ると様々な問題があったように思います。

救護施設においては、現在のところ大きな変動は見られませんが、今後、生活保護法において保護費

の引き下げが検討されており、何らかの影響があるものと不安視する声も上がっております。救護施設の役割として「やしおみ荘」におきましては、高齢化・重度化が進み、利用者の日常生活においては、多種多様なニーズの要求に伴い多様な支援が必要とされておりますが、利用者本意を基本とした支援を提供していかなければならないと考えております。今後とも皆様のご指導、ご協力をお願い申し上げます。



# 新年の挨拶

## ヘルパーステーション あくていぶ

管理者 安島 智江

新年明けましておめでとうございます。

皆様には平素より、大変お世話になり深く感謝申し上げます。新春のある新聞に障害者スポーツをリードした功績をたたえ、社会福祉賞を受賞された方の記事が掲載されておりました。その強い思いは「障害者が車イスでバスケットをする姿を見る事で一人の人間として正視してほしい」という叫びの裏返しでもあったとのコメントが深く心に残りました。

利用者様お一人お一人の思いを、共に生きていく人間として大切に考え、今年もまい進していきたいと考えております。本年もどうぞご指導の程、宜しくお願い致します。

## レジデンスなこそ

施設長 大橋 梨香

新年明けましておめでとうございます。

今年は、利用者数名が2年間の通勤寮での生活を終えて通勤寮を巣立ち、地域で单身生活を始めます。憧れの单身生活を手にするわけですが、現実に单身生活をする事で、施設生活ではみえなかった生活の大変さに直面することと思いません。そんな時にいつでも傍らで支えることが出来る職員でありたいと思います。今年も、職員一同、自己実現を目指して支援をしていきたいと思ひます。

## 就労継続支援B型 虹のかけはし ワークセンターしおさい・天真庵

管理者 長谷川キヨ子

新年明けましておめでとうございます。

一昨年障害者自立支援法が施行され、3事業所が新体系に移行し、丸1年余を経過したところであり、利用者及び家族の皆様始め、関係者の方々には大変お世話になりました。

通所の事業所の利用者にとって、工賃よりも利用料のほうが多い方もいるなど負担感の大きい形が続いておりましたが、昨年暮れには「障害者自立支援法の抜本的な見直しに向けた緊急措置」が実施される運びとなり、20年度中には利用料の更なる軽減など利用者さんにとって、利用しやすい形になっていくものと期待されます。

また、工賃の大幅アップも大事な目標であり、日々の作業内容や販路の拡大など検討しなければならない課題が山積しています。今後とも、多くの皆様のご協力とご支援を頂きながら利用者の皆さんの幸福の為、職員一同邁進していく所存です。本年もよろしくお願ひいたします。

## 児童デイサービスチャーむ

日中一時支援事業管理者 小宅 幸恵

新年あけましておめでとうございます。

今年も、チャーむ・ウィズの名前にふさわしく利用者の皆様、地域の皆様に愛され支えられて新しい年を迎えることができたことを心から嬉しく思ひます。

昨年は、日中活動や、各種療法などを通して、利用者一人ひとりが、成功体験を積み重ねて、自信へと繋がってきたようです。

今年も、利用者サービスの向上に努め、利用者の皆様が自らの生きる力を主体的に持てるよう、また、利用者一人ひとりが自分らしく生活ができる豊かな場となるよう支援していきたいと思ひます。

## 「自分らしく生きる!!」地域生活相談室せんとらる

佐藤 道子

新春のお喜びを申しあげます。

障害者自立支援法において、障がいをもつ方が地域で安心して暮らせるように、相談支援体制の整備や確立が急務とされています。

当事業所は支援費制度施行の平成15年より、法人独自事業として地域の方々の相談支援に当たってきました。平成19年4月よりいわき市の委託を受け、相談者の日々の生活のしづらさや必要としているサー

ビスの利用に向け活動をしております。

しかし、日々活動する中で、地域を知ることや多様な専門職との連携の重要性、相談者の想いを感じる力、そして、相談者が自分らしく生活できるよう、自分に何が出来るか？この仕事の奥の深さを感じています。相談者と共に「自分らしさ」求め、歩む一年にしたいと思ひます。本年もどうぞよろしくお願ひ致します。

## 植 田歩行者天国 虹のかけはし・ワークセンターしおさい・天真庵

秋晴れの平成19年10月8日（月）、植田歩行者天国に出店しました。吉田家具店の前にて、天真庵は焼きうどんを販売!!

目の前で『ジュ〜ジュ〜』と音を立てて焼かれる、香ばしいにおいと、利用者さん達の元気な声・笑顔に釣られて、行列が出来ることも…♪

目標としていた食数には及ばなかったものの、また一つ『天真庵』の名を地域に広めることが出来た

かなあ〜と思うと共に、お店への来客に繋がりたい!! と気持ちを新たに利用者さんと職員一同です(´-`)

また、ワークセンターしおさいの生うどん、虹のかけはしの焼きたてパン、ふじみ更生園のクッキーの売れ行きも良かったようで、販売終了後には沢山の笑顔が見られていました。



## 秋 だ！スポーツだ！ウォーキング やしおみ荘

10月18日（木）快晴の下、毎年恒例のウォーキングが行われました。参加者は47名。みんな元気に出発！目指すは八幡神社。歩く道々に、柿、無花果、色づいた木々の葉を見つけ、秋の訪れを感じながらのウォーキング。このウォーキング一番の難所は神社前の上り坂。皆さんの口数も減ってきた頃、到着。

秋にしては暖かい日差しも手伝って、汗をぬぐう方、上着を一枚脱ぐ方と、頑張って坂道を登りきった様子が伺えました。境内近くでおやつを食べて一息ついたところで帰路へ。帰り道は会話も弾み、賑やかに帰ってきました。秋を満喫できた時間を過ごすことができました。

## I MUフェスティバル2007 天真庵・ワークセンターしおさい

今年もいわき明星大学よりお誘いを受け、平成19年10月27・28日に『I MUフェスティバル2007』に参加しました。今回はしおさいと天真庵で両日かけ



うどんを販売！しかし…当日は突然の台風に見舞われ、テントが飛ばされそうになることも。「学園祭はどうなってしまうのだろう…」と不安

も募るばかり。しかし！嵐の中、お買い求め下さった大学生をはじめ、一般来場者の方から「うどん、おいしい!!」と多数の好評をいただきました。

悪天候にも関わらず、いわき明星大学の職員・学生、そして実行委員の方々には、準備と片付けにご協力をいただきました。この場をお借りしてお礼を申し上げます。ありがとうございました。

## コ スモス通り一泊旅行 ふじみ更生園

11月8～9日利用者の希望で一番多かった那須方面に利用者21名保護者3名職員5名で1泊旅行に出掛けました。園を朝8時30分に出発し、天気も良くお昼には那須ハイランドパークに到着しました。昼食後はグループに別れ自由行動、メリーゴーランドや3Dワールド館探検や、中には何回転もするジェットコースターに何度も乗ったりする利用者もいました。その日の宿泊先であるホテルニュー塩原には夕方方に到着、温泉に浸かりその後は宴会とカラオケを楽しみ、保護者や利用者などひっきりなしに歌を唄い終りの時間まで止む様子は見られませんでした。翌朝はホテルの玄関で餅つきが行われ、利用者や保護者等飛び入りで参加していました。2日目は日塩もみじラインをバスで巡り、もみじ谷大吊橋へ。つり橋を怖くて渡れず、最後には座り込んでしまい手を引いてもらって渡る利用者さんもいて賑やかでした。紅葉も最盛期で車窓からの眺めは最高で、ガイ

ドさんもその土地の歴史や名産等詳しく説明してくれて利用者さんも興味を持って聞いていました。那須旅行での2日間は天気が良くて暖かい最高の旅行となりました。





## さ くら通り一泊旅行 ふじみ更生園

11月16～17日、鬼怒川方面へさくら通り一泊旅行に出掛けました。当日は驚くほどの秋晴れ。優しい運転手さんと素敵なガイドさんに迎えられ、バスに乗り込むといよいよ楽しい旅の始まりです。1日目は東武ワールドスクエアへ。世界の有名建築物が、なんと25分の1の小ささに…！今にも動き出しそうなミニチュアの飛行機や新幹線を、みな真剣な眼差しで見つめていました。早めに宿へ到着しゆっくりと温泉で疲れを癒した後は、待ちに待った宴会です。元気な乾杯の音頭の後に目の前に並ぶ豪華な料理を完食！カラオケ大会では、利用者さんに負

けまいと保護者や職員も参戦し、会場は紅白歌合戦と化していました！2日目はとりっくあーとびあ日光へ。様々に仕掛けられた絵に頭を悩ませた後は、那須チーズガーデンにて昼食を。食後は家族へのお土産を真剣に選ぶ姿があちこちにみられ、みんなの優しさを感じた旅となりました。来年もまた、素敵な旅に出掛けましょうね。



## 日 帰り旅行 ふじみ更生園

11月19日（月）、さくら通り日帰り旅行で天心乃湯へ出掛けました。当日は天候にも恵まれ、車でドライブしながらの出発となりました。途中車窓から勿来の壮大な海を眺めると、車内では「海は広いなあ、大きいなあ…♪」と職員と利用者で合唱が始まることも!!現地へ到着するとすぐに会食でした。沢山のメニューを見て、どれにしようかなあと迷う方、あれもこれも食べたいと欲張る方!?それぞれ食べたい

ものをじっくりと選び、お腹一杯食べました。美味しいご飯を食べ満足したその後は…待ちに待った!?温泉。普段とは違う大きいお風呂に圧倒されながら、頬を赤く染め長湯をすることがみられました。ゆっくりと温泉に浸かり、心も体も癒されたのではないのでしょうか。この日はのんびりと過ごすことができた一日となりました。

## や しおみ荘へ行こう月間 やしおみ荘

11月16日（金）上遠野小学校の4年生36名が来荘し「やしおみ荘へ行こう」が行われました。昨年は2日間でしたが、今年度は1日で大勢の参加でした。AM9:30から施設長より福祉講話、AM10:00より利用者も首を長くして待っていた交流が行われました。



フラワーアレンジメント・リース、マカロニ・リース、松ぼっ

くりツリー、コースター、お茶などグループに分かれて行われ、初めは緊張し静かだった子供達もツリーやリースを作りながら、次第に会話になり、笑顔になり、リードをしてくれて、時間も忘れて夢中になっていました。

お茶に参加した子供達からは、初めての体験の子供達も多く「苦かったけど、おまんじゅうもあったのでおいしかった。」との話もありました。

それぞれに作った、ツリー、リース、コースターは個々にお土産にし「やしおみ荘へ行こう」も終了し、玄関前で見送る利用者は「また来てね、待てるよ」と笑顔でいつまでも手を振っていました。

## 気 仙沼旅行 レジデンスなこそ

12月8日～9日に毎年恒例の忘年会を兼ねた旅行に出かけました。今年はカキが食べたいという利用者さんの希望で気仙沼方面に決まりました。利用者15名保護者2名職員4名で中型バスを貸切り、道中はカラオケをして楽しみました。1日目は岩手県の中尊寺などを見学し、カキ料理で有名な宿に宿泊しました。大きな船に乗った大量のカキを見て大騒ぎ。

宿の方々の余興で、一緒に踊ったり歌ったりして、とても賑やかな宴会となりました。2日目の宮城県の観光では松島の遊覧船に乗ったり、牛タンを食べたり、ゆっくりと買い物をしました。帰りの車中はみんな疲れてしまい、とても静かでしたが、来年もまた自治会主催の旅行を計画したいと嬉しそうに話していました。

# 忘年会★クリスマス会

## 今年もお疲れ様でした。 忘年会 やしおみ荘

12月14日（金）今年も例年通り荘内で行われました。誕生会も一緒に行われました。施設長の挨拶を始めに忘年会が始まりました。実習生の方も最終日でしたが、参加してもらい、余興をして盛り上げてくれました。利用者の方々とはというところももちろんみんなが大好きなカラオケ大会。棟ごとにカラオケを歌い、みんな楽しそうに歌ってくれました。それでも歌い足りない？方は、自慢の歌声を披露!!素晴らしい歌声が体育館を包みました。唄った後は、お腹が空くもの。中締めをして食堂へ移動して会食です。ミックスフライをほおぼり、おいしそう。あっという間に平らげてしまいました。今年はよかったね、たのしかったねと口にする方もおり、笑顔で幕を閉じました。

## 3事業所合同忘年会

### 虹のかけはし・ワークセンターしおさい・天真庵

平成19年12月19日（水）午後6時より「ニューうおしん」にて、虹のかけはし、しおさい、天真庵の3事業所合同の忘年会が行われました。

通常の作業を終えてから、スーツやワンピースなどに着替え会場に向かいました。保護者の隣でおすまして席に座る利用者さんたち。今年一年を振り返っての感想を一人ひとりに聞くと、どの利用者さんも「作業を頑張りました。」と胸を張って発表していました。その言葉から、一生懸命に働くことで、それぞれが充実した日々を送れたことが感じ取れました。

美味しい料理とカラオケを楽しんだ後は、クリスマスも近いということで、音楽に合わせてプレゼント交換を行いました。カラオケは、まだまだ歌い足りないようでしたが、もらったプレゼントを大事に抱え、みんな笑顔で会場を後にしました。

3事業所が一体化したといっても、それぞれの事業所が一緒に何かをする機会は少ないため、利用者・保護者・職員共々、貴重な時間となったと思います。

## クリスマス会&送別会 虹のかけはし

12月21日（金）、クリスマス会が開かれました。（\*6-6）ノ☆;:\*;\*☆"Merry\*Christmas"☆;:\*;\*☆、（δ-δ\*）作業終了後、皆でシュークリームとカレーを作り、クリスマスを祝いました。少し辛目のカレーでしたが、汗をかきながらも勢いよく食べました。おかわりをする人も多く大満足の食事となりました。定番のクリスマスソングの合唱、利用者さんのピアノ演奏、なぞなぞ、伝言ゲーム、プレゼント交換で大盛り上がり☆特に伝言ゲームでは、まったく違った言葉で伝わってしまい、

皆で大爆笑してしまう場面もありました。(//^▽^)o\_☆

また、12月より、一般就労が決まった利用者さんも招待し、シークレットでの送別会を同時に催しました。寄せ書きを受け取り、一人一人と言葉と挨拶を交わす場面では、思わず、涙ぐんでしまいそうな場面も♪あっという間に過ぎてしまいました。思い出はたくさんできた一日になりました。（\*^-^）人（\*^.\*）人（^-^\*）



## クリスマス会 ふじみ更生園

12月22日（土）やまたまやにてクリスマスパーティーが開かれました。今年のパーティーは開始と共にサンタクロースがそりに乗って登場、利用者さんにクッキーのプレゼントを渡しながらか会場を歩き、初めから盛り上がりました。次にふじみ更生園のバンドグループ「メモリーズ」からは職員のピアノ伴奏と共に女性利用者さんによるヴォーカルと他のメンバーによる楽器演奏でクリスマスソングを会場の皆さんにプレゼントしました。後半は菊池章夫さんと金子透さんによるライブ、皆待ってましたとばかりにステージ上に集まり大きな声で歌っていました。生演奏ですからカラオケ



よりも豪華！おいしい料理を食べながら今年のクリスマス会は生ライブが演奏される中、幕を閉じ、今年も楽しいクリスマスパーティーとなりました。

# 平成19年度 東北地区知的障害者福祉協会 授産施設部会 合同職員研究協議会福島大会に参加して

虹のかけはし・浄土 洋輔

ワークセンターしおさい・鳥羽田 祐

平成19年11月15日（木）・16日（金）に福島県・飯坂ホテル聚楽で行われた授産施設部会合同職員研究協議会に参加しました。

1日目は長谷川浅美氏より、『障害者自立支援法の抜本的見直し』について基調講演が行われました。今後は福祉予算拡充や、サービス利用者自身が程度区分に関わらず自己選択・決定できるべきであることが挙げられました。また、仕事を行うにあたり、やりがいを大切にして取り組むことを再認識しました。

第1分科会では、「望ましい新体系移行のための効果的運営のあり方について」のもと、3施設より施設運営のあり方や自立訓練・就労移行・商品作成について発表がありました。

第2分科会では、「工賃倍増を目指し授産活動の

活性化を図るには」のもと、工賃アップのために向けた工夫やプロの採用、品質向上について意見が出されました。

2日目は、『21世紀の福祉 キーワードは「主体性」』の演題のもと、雄谷良成氏より講演が行われました。「働くこと」や「自立」について説明があり、働くときと休むときのメリハリをしっかりとつけて臨むことが話されました。また、仕事をする際は利用者・他職員の考えを吸い取る努力を続けてほしいとのことでした。

今回の研修を通じて、働くことをしっかり理解してもらおうと同様に、やりがいをもって仕事に取り組める施設作りをしていきたいと思いました。あらためて、地域密着の重要さと働くことの「原点」を振り返ることができました。

# 平成19年度 第5回全国知的障害者授産施設運営研究協議会に参加して

天真庵・森 清香

ワークセンターしおさい・大和田 三佳

平成19年11月29日（木）・30日（金）の2日間、静岡県浜松市にて、第5回全国知的障害者授産施設運営研究協議会に参加しました。

1日目は、弁護士の立場から見た障害者自立支援法についての記念講演でした。2日目の第1分科会では、「移行前、移行後の就労移行支援事業への取り組みと課題」、第2分科会では、「新支援事業体系への移行の取り組みと問題点」というテーマで、各施設の作業状況や、就労にむけて力をいれているこ

となど、貴重な話を聞くことができました。

この研修に参加して、どの施設でも障害者自立支援法に不満や疑問を持ちながら、その中でどのようにして利用者のニーズに応えていけばよいのか、様々な工夫や努力をしているということを痛感しました。障害者自立支援法の中で、利用者にとって不利な内容、おかしいと思われる部分などは、現場からどんどん声を上げて主張しなければならないと思いました。

## 編集後記

今年は子年。十二支の始まりの年です。

「偽」の言葉が多かった昨年ですが、今年はどうなるのでしょうか。楽しい話題が少しでも多い年になればと思います。

新しい年、新しいスタート、新たな目標を掲げ、気持ちも新たに今年一年、何事にも取り組んでいきたいと思えます。

## これからの予定

### やしおみ荘

- 1月
- ◎新年会、初釜
- 2月
- ◎園児との交流
- ◎節分
- ◎上遠野小学校との交流
- 3月
- ◎ビデオ鑑賞会
- ◎雛祭り

### ふじみ更生園

- 2月
- ◎花見

上旬

### 虹のかけはし

- 1月
- ◎福祉マーケット（JAグリーンプラザ）
- 19日（土）
- ◎新年会

### ワークセンターしおさい

- 1月
- ◎福祉マーケット（JAグリーンプラザ）
- 20日（日）
- ◎新年会
- 2月
- ◎節分

### 天真庵

- 1月
- ◎新年会

